



いつも新しい流れがある 市川

令和5年8月16日

報道関係者 各位

市川市 管財部長 稲葉 清孝

カーボンニュートラルへの新たなアプローチ

地球にも家計にもやさしい“カーシェアリング”が
第1庁舎地下駐車場にてはじまりました！

本市では、令和4年度から公民連携により、公共施設等にシェアサイクルを設けて、シェアリングエコノミーの普及に努めておりますが、この度、第1庁舎地下駐車場において民間事業者によるカーシェアリングがスタートしました。

市では、さまざまな視点から脱炭素化を進めています。

1 カーボンニュートラルへの取組紹介 [記者会見形式]

- (1) 日時 令和5年8月22日(火) 11時00分から11時15分
(定例記者会見終了後に開始予定)
- (2) 場所 第1庁舎1階ファンクションルーム
- (3) 項目
 - カーシェアリングの活用
 - CO₂排出削減の効果
 - 公用車の課題
 - 公用車としての活用による効果
(別紙資料もご参照ください)

2 カーシェアステーション視察

- (1) 日時 令和5年8月22日(火) 11時20分から11時30分
- (2) 場所 第1庁舎地下1階駐車場
- (3) 項目 カーシェアリングサービス

(問い合わせ) 管財部 管財課長 越堂 達志 TEL 047-712-8647

カーボンニュートラルへの新たなアプローチ [車利用のCO2削減]

I カーシェアリングの活用

期待される効果

①維持費の削減

- 車両所有による自動車税や月極駐車場代などの固定費を削減
- 車両管理の手間を削減
- 必要な時だけクルマを使うことで出費を抑制

②新しい生活様式

- 全国のカーシェアステーションの車が利用可能
- 車の利用開始場所を制限しない生活様式を実現

③環境への配慮

- 公共交通機関（電車など）との組み合わせでガソリンやCO2を削減
- EV車やHV車など最新の次世代自動車の利用が可能に

第1庁舎地下駐車場に配置するEV車・HV車を利用することで、環境負荷の軽減に寄与

II CO2 排出削減の効果

カーシェアリング活用とCO2排出削減効果



CO2排出量は保有車に比べ26%減 ※パーク24株式会社による推計
燃料費で年間約10万円削減 ※環境省COOL CHOICEウェブサイトより

III 公用車の課題

現状と課題

稼働率の低い車の配置換え
• 削減 ⇒ 財政負担の軽減

EV車、HV車への転換
⇒ 環境負荷の軽減

使用頻度は少ないけど、車が必要な部署は…？
繁忙期には共用車が使えないことも…

電気自動車リース1台（年間約584,000円）
普通充電設備1基導入費（約377,000円）
今後の公用車にかかる費用の削減が課題

IV 公用車としての活用による効果

市にもたらされる効果

リース車両から必要な分だけカーシェアを活用すると



導入費（リース料、関連設備費）や
ランニングコスト（保険料、修繕料）の削減

意識転換による公共交通機関や自転車の積極的な活用